



木次っ子の四季

～互いに互いの成長を喜び合う学校～

校長: 伊藤彰彦



雲南市では、1人1台端末の活用を進めていますが、同時にデジタルシティズンシップ教育を推進しています。これは、子ども達がよき ICT 機器の使い手となることを願っての取組です。6月に国際大学客員研究員今度珠美様、同じく国際大学准教授豊福晋平様に来校いただき、6年生にデジタルシティズンシップ教育の学習をしていただきました。この取組は、今後全校で行います。

デジタルシティズンシップ教育(インターネットを介して人と関わる際のモラル教育)

今度先生からは、チャットで仲間はずしがあつたという物語をもとに学習をしていただきました。子ども達は、仲間はずしにあつた子の気持ちを考えて共感し、こういう時、自分ならどんな行動をとるのがよいのかを考えました。学びの振り返りを行い、その後、家庭に持ち帰ってご家族にも一言感想や思われたことを書いていただきました。



授業の感想では、「自分から行動できる人間になりたい。」「行動するのは苦手なほうだけど、行動を起こすことが大事だということが分かった。」「いじめにたちむかう人間になりたい。」「1 立ち止まる、2 考える、3 相談する、このことを困ったときに実行したい。」と、前向きな感想がたくさん出ました。

私は、授業を参観して、子ども達が真剣に向き合っていた姿を見て、とてもうれしく、そして頼もしく感じました。自分から行動を起こしたいと考えている子が多く、その時にこそ本当の勇気を出してほしいと願いました。

また、保護者の方々の感想には、わが子には優しい人に育ててほしい、正しいことを行えるように育ててほしいといった願いや、子どもが困ったときに相談できる家庭環境を作っていきたい、甘えてくれて何でも話してくれる関係を作っていきたいという、親としての在り方を見つめていらっしゃる感想もあり、感動しました。

子ども達がタブレットを活用し始めて、半年がたちます。主に3年生以上で毎日のように活用しています。世界がデジタル機器を活用して発展していこうとしているので、子どもたちが20歳になるころは、より進んだ ICT の世の中になっているはずです。仕事は家にいながら行うことが主流になっているかもしれません。ご存じのように、NTT は、2022年度のうちにリモートワークを基本とした勤務形態とすることを発表しています。

子ども達は、技術的にも精神的にも ICT のよき使い手になることが求められています。小学校の時は、活用のスキルを高めるとともに、学習の課題を見つけ、協働して答えを求める経験を積むことが大切だと思います。伝統的な学習を大切にしつつ、基礎学力の習得と学び方を身につけていってほしいです。

木次図書館へ行ったよ

2年生は、木次の素敵な場所をめぐる生活科の学習で、木次図書館へ行きました。たくさんの本があり、見学をしたことで、おうちの人に連れて来てほしいと思った子もいました。

紙芝居で図書館の説明を受け、楽しく理解を進めました。こんなにも工夫をして迎えていただき、感激です。子ども達は、ますます本が好きになったようでした。ぜひ、ご家族で訪れていただけると嬉しいです。



この本、借りて読みたいな。



盆踊りの練習

今年も三新塔地区の皆様にお世話になって、3年生が盆踊りに取り組んでいます。足の動きが難しいようで、子ども達は悪戦苦闘していましたが、上手に教えていただき、足の動きを覚えた子がたくさん見られました。グループごとの発表では、うまく足さばきをしていました。感心しました。木次の伝統を受け継いでいってほしいです。



手の動きをつけたら盆踊りらしくなったよ。楽しいね。



講師の方々

行事予定

8月7日 PTA 奉仕作業 アルミ缶等回収
26日 2学期始業式
安全マップ作り
(八日市 三新塔 新市地区)
28日 PTA 奉仕作業予備日

29日 給食開始 通常時間割開始

8月10日から17日までは、市内小中学校は閉庁日となっております。ご理解、ご協力を賜りますよう、お願いいたします。